

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・政府の対策が良いためか、仕事に就く人が多くなった感じがする。またホームレスが非常に少なくなっているような感じがする。
		乗用車販売店（販売担当）	・新政権の圧勝と、アベノミクスへの期待感が日常に相当出ていると思う。また復興予算が実施され、景気の底上げということで建設関係のダンプカー、ミキサー車、クレーン車が増えてきており、景気が徐々に良くなってきているように思う。ただし、これは期待感であり、このあと数か月間様子をみないと何とも言えないが、このまま上昇気流に乗れば、トラック関係も少しは呼び戻せるのではないか。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・総理の方針が、明確に連続して発信されているからである。
		一般レストラン（経営者）	・1年を通じて2月が一番悪く、売上の少ない時期のため、おのずから2、3か月先の売上は良くなる。加えて、景気にプラスの動きが出てくれば、今よりはかなり良くなるのではないか。
		観光名所（職員）	・2月は1年間で一番の閑散時期である。3か月後になると春のゴールデンウィークを控えているため、今よりはかなり良い数字になると期待している。
やや良くなる		商店街（代表者）	・政治に対する安心感が戻ってきたことと、それに伴う消費者マインドが少し改善していることが挙げられる。特に株価好調は、当地域のような富裕層の街には、好影響をもたらす。資産の価値が上がり、消費マインドを好転させているように思う。
		商店街（代表者）	・商店街や地域を担当する特別区の担当課が、国の補助金を用いて観光客を誘致する事業を策定しつつあり、実現すれば、いくばくかの地域活性化につながると期待できる。
		商店街（代表者）	・マスコミで景気が非常に良くなると言っており、政治状況も変わってきたため、客の反応も多少明るくなっている。また、桜が咲いてくると心がうきうきしてくると思う。そのため、期待しており、多少は良くなっていくのではないか。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・省エネ、防犯商品の買換えを勧めしており、少しずつ売れてきているため、品物が動いてきそうである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新政権になり、いくつかの対策のうち、1つや2つは効果があるのではないかと期待している。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・アベノミクスの影響で、円安等の影響のないところでも動き出した気配を感じる。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・来月、最寄り駅が地下化される。南口、北口の交互通行が踏切がなく円滑にできるため、非常に人通りが増えるのではないかと思う。しかし、当商店街は道路計画に入っているため、店舗が飛び地で非常に商店が少なくなっていることが心配である。
		百貨店（総務担当）	・百貨店のため、個人消費が伸びていかないと当社の景気は良くならないが、客の景気が本当に良くなるのは、2、3か月後ではなく、来年度下期ぐらいではないか。それまでは景気は本当に緩やかに推移し、大きな変化が出てくるのは夏の賞与以降であると予想される。その頃になれば、我々小売業にも明るい兆しが見えてくる可能性があるのではないか。
		百貨店（営業担当）	・アベノミクスをマスコミが流布しているため、一般消費者も景気回復を期待して、春先に購買が伸びる可能性がある。
		百貨店（営業企画担当）	・円安や株価上昇による企業収益の回復が個人消費を刺激すると思う。
		百貨店（管理担当）	・デフレ脱却と経済再生を目指すアベノミクスにより、円高是正、株価回復などの結果が出ている。
		百貨店（営業企画担当）	・40周年の記念企画や、優待などの特別対策を行うことで、来客数、販売量の上昇を狙う。
		百貨店（店長）	・現在の状態が続けば、消費税増税までは好調に推移するのではないか。
		スーパー（店長）	・季節も冬から春へと移り、政治に対しての期待感や、生活働事も多くあるため、多少良い方向へいくと思う。
		スーパー（店長）	・政府のアベノミクスの政策、経済対策次第だと思うが、現在の客の雰囲気や行動は、将来にある程度展望が見えてきているような感じを受け、今後もそのような客の気持ちが続けば、今よりはやや良くなっていくのではないか。
		スーパー（営業担当）	・このまま円安、株高基調が続けば、景気の上向きは相当期待できるのではないか。
		コンビニ（経営者）	・季節的な要因として、暖かくなってくることは良いことだと思う。また、アベノミクスによって、ムード的にいくらか良くなっていくのではないか。

コンビニ（エリア担当）	・円安や株価上昇による輸出拡大など、連日の消費マインド改善ニュースもあり、期待ができる。
コンビニ（商品開発担当）	・アベノミクスによる消費意欲拡大に、少しだけ期待したい。
衣料品専門店（店長）	・購買意欲が高く、この状態が急激に変化するとは考えられない。
衣料品専門店（店長）	・例年より寒い冬ということを除外しても、来客数が昨年を超える傾向が続いてきており、単価も微増してきていることから、大きく伸びるとまではいかなくても少し良くなると思う。
家電量販店（営業統括）	・新社会人、新入学生などの新生活関連の商材がピークを迎える。また、桜の観光シーズンが始まり、花見を目的に訪日する観光客は毎年増加している。
乗用車販売店（経営者）	・日本全体がアベノミクスの影響で購買意欲が高まり、景気回復の兆しがみえる。消費税増税までは、このまま順調に景気が上向くと思う。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしており、整備は順調に入っている。販売は先月まであまり良くなかったが、来年度から消費税が上がるということで、今月から駆け込み需要で注文が増えてきている。
乗用車販売店（経営者）	・ひと月の間にも、購買意欲に波があるように感じる。高止まりしても、現状よりやや良くなる程度だと思う。
乗用車販売店（販売担当）	・ここにきてガソリン高騰のせい、ハイブリッドや低燃費車両を中心に売れており、また景気上昇のムードで客の反応も少しずつ良くなっており、販売台数も伸びている。
乗用車販売店（営業担当）	・消費税増税の雰囲気だけで、上がる前に買ってしまおうという声は最近が多いように感じる。自動車取得税が廃止になるのは浸透していないようである。国民性なのか、せっかちな年配者が多いようである。
乗用車販売店（渉外担当）	・ハイブリッド車を中心に前年並みに推移している。楽観視できないが、今後もガソリン高騰の要因もあって小型ハイブリッド車の好調が続く、新型車も高く評価されているため、やや良い状況が続く。
高級レストラン（店長）	・宴会予約の推移から判断し、やや良くなると思う。
一般レストラン（経営者）	・今の段階で政権交代が景気面ではプラスに作用しているようである。寒さの割に客足が少し戻ってきている。
一般レストラン（経営者）	・民間の企業では、不動産や建築、物流といった分野が伸びているようである。客の宴会もその方面はかなり増えている。逆に公共事業で入札をしている企業はかなり厳しい状況で、当地域でも大手企業2社が2月に倒産した。
一般レストラン（経営者）	・今月の前年比の最終結果予想は売上で95%になると思う。少しずつ100%に近づいているため、2、3か月後は前年比で100%を超えてほしい。早く良くならないとそれまで耐えられるか心配である。
一般レストラン（経営者）	・飲食店、サービス業等に影響が出てくるのはまだ先のような気もするが、株価も1万円台になっており、アベノミクスの影響で少し景気が良くなるように期待をしている。
一般レストラン（スタッフ）	・やや良くなるというのは希望的観測だが、やはり皆が明るく思わなければ良くなる。まだまだ時間がかかると思うが、良くなってもらわないと困るし、良くなると思う。
都市型ホテル（スタッフ）	・婚礼の受注が進んでおり、法人の宴席予約は、件数、人数共に前年をオーバーしている。宿泊も近隣のイベント数に大きな変化はなく、レストランも工夫次第で高単価商品が売れるため、良くなると思う。
旅行代理店（従業員）	・国内団体旅行の予約率は同週比40%と低迷しているが、1日平均80件程度の見積件数が100件を超えるようになってきており、回復傾向にある。
旅行代理店（支店長）	・2、3か月後は春になる。円安傾向から海外からの来訪客があり、スカイツリーへのインバウンドが良くなる。また、新年度を迎え、報奨などのツアーが伸び出すため、その点もプラス材料と考えている。
タクシー運転手	・会社からの無線オーダーが増えている。客の話にも仕事に関する話題が多く、以前に比べ愚痴や悩み事の話が少ない。このまま夜間の客数増へと流れがあれば良い。
タクシー運転手	・中国、韓国との領有権の問題はくすぶっているが、多少落ち着いてきたようである。アベノミクス効果で経済が上向きになる。
タクシー運転手	・新政権に変わったことにより、これから良くなっていくのではないかと。
通信会社（経営者）	・アベノミクス効果や、TPP参加に見通しがついたためである。

通信会社（経営者）	・新政権の政策が実現され、デフレ脱却することを期待する。	
通信会社（経営者）	・昨年末に販売開始された商品の専売にて、テレビ、インターネットの需要喚起が期待できる。また、セット販売による電話の付帯も期待できる。	
通信会社（営業担当）	・政権が変わり、インフレの政策が実現されるように感じる人も多く、数か月後には景気が良くなると感じている顧客は多い。	
通信会社（営業担当）	・今後、消費者のニーズを的確にとらえたサービスを提供できれば、単価が若干上がっても受け入れられる地合ができていくように思う。	
通信会社（局長）	・2、3か月限定でいえば、通信業界特有の繁忙期特需が見込める。固定通信とスマートフォン、インターネットの連携で特需が受けられる一部の通信会社は好調であり、期待できる。	
通信会社（管理担当）	・一つ一つ施策を遂行しているため、このまま施策どおり進めば回復傾向になる。デフレ懸念も取り下げられた。	
ゴルフ場（支配人）	・3、4月の予約数が予想以上に確保できている。	
その他レジャー施設 〔スポーツ施設〕（支配人）	・ファミリーを中心に来場数が増加傾向にある。消費単価も若干ではあるが高くなってきており、緩やかではあるが右肩上がりだと思われている。	
その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・アベノミクスの効果が感じられ、消費者マインドも上向きになってきた。1人当たりのゲーム料が上がっている。今後は円安による輸入品の値上げで水を差されることも想定されるが、上向きでしばらく推移していくのではないかと。	
その他レジャー施設 （経営企画担当）	・催事の予約が堅調に推移している。個人消費の回復も期待される。	
美容室（経営者）	・政権交代により、皆の動きが良くなった。	
その他サービス〔福祉 輸送〕（経営者）	・現在受注している新型大型車の納期が、2～3か月掛かるため、新車が実際に登録をされ、売上になる3か月後は景気が若干上向くと感じている。	
設計事務所（所長）	・耐震改修等のコンサルタント業務が、設計業務とつながっていくのではないかと。	
住宅販売会社（経営者）	・やや良くなることに期待している。新政権に変わってから数々の景気対策が打たれているが、その効果がいつ出てくるのか分からない。即効性のある景気対策を期待している。今年中に明らかに景気を回復させないと、来年4月1日より消費税を上げることができなくなってしまうのではないかと。	
住宅販売会社（従業員）	・先行指標である展示場への来場数が増えているため、今後も景気は良くなると思う。	
住宅販売会社（従業員）	・現状は販売が好調でこのまま続いていくと思う。しかし、在庫が減り、仕入に苦労している。売主がこれからもっと景気が良くなると思っただけか、強気な感じが取れる。仕入、在庫の確保が今後の展開に大きく影響してくる。	
住宅販売会社（従業員）	・政権交代し、ニュース等でも景気回復への期待感が言われており、客がそろそろ動こうという気持ちになってきていると感じる。住宅の新築、建て替えを考えている客は建築に時間が掛かるため、9月末までに請負契約を締結して消費税5%を確保しようとしており、具体的な商談が増えてきている。今後は少しずつ景気が良くなる。	
住宅販売会社（従業員）	・これだけ政策に対する期待が高まっているのは、近年では珍しいのではないかと。期待を込めて景気はやや良くなると思いたいですが、期待外れに終わって消費税などの負担増だけを取りざたされるようになれば、かなり冷え込むだろうという危機感がある。	
その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・消費税増税前の駆け込み需要が見込まれる。	
変わらない	商店街（代表者）	・最近の客の様子だが、予算について真剣に考え、非常に慎重であり、できるだけお金を出したくないという感じがしている。そういった状況のなかで、今後どうやっていけばいいか大変不安である。そうした不安が今後もまだまだ続くのではないかと感じている。
	商店街（代表者）	・現在の社会的な状況からみて、とにかくすぐ良くなるとは思えない。天候が良くなり、暖かくなれば少し状況が変わってくると思う。この寒さが続くと、そう簡単に上向くとは思えないため、暖かくなることを心待ちにしている。
	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・3、4、5月と様々な季節の行事があるため、購買意欲が出てくると予想される。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	・これから消費税増税等があり、その前に購入しようという客がやや増えてくるのではないかと。

一般小売店 [印章] (経営者)	・政権交代し、景気が良くなるとは言っているが、急激な速度での変化はないと思う。また、ある一部の業種に対しての景気浮揚はあるかもしれないが、末端まで景気が良くなったと感じるには、相当時間がかかるのではないかと。
一般小売店 [文具] (販売企画担当)	・法人客の案件数も安定してきており、現在、件数が結構あるため、これ以上増えることはあまりないと思う。また、1件当たりの単価が上がるよう努力はしているが、客は予算が限られているため、これ以上急激に上がることはあまりないのではないかと。景気が若干良くなっている状況が、このまま維持されるのではないかと。ただし、個人客の財布に関してはあまり変化はなく、かえって単価が下がっているため、来客数を増やす努力をして、何とか補っている。
百貨店 (売場主任)	・円安、株高の傾向も不安定なものに思われ、春のセレモニー終了後の春物の消費には、まだまだ結びついていない状況だと思ふ。
百貨店 (総務担当)	・大きく状況が変わるとは言い難い。しばらくはこの状況が続くと思う。食料品の強化等の取組をしながら、季節商材などをどのようにアピールしていくかを考え、客目線で品揃えや戦略を行う必要がある。
百貨店 (広報担当)	・夏の参議院選挙までは、何とかアベノミクス効果が持続され、小売業も現状維持かやや良くなるように思う。反面、政府から円安などによる小麦の輸入価格引上げが発表されるなど、円安による製品価格への上乗せが景気へ悪影響を与えることも予想される。ここ2~3か月で顧客の購買行動に出てくる可能性もあり、楽観視はできない。
百貨店 (営業担当)	・先行きが読みにくい状況は続くと考えている。一部富裕層については、円安、株価上昇は購買意欲を増進する効果はあると思うが、一般消費者への波及はこれからといったところである。しばらくの間は、大きな環境の変化はないと推察される。
百貨店 (営業担当)	・良くはならない。衣料品関係にとって円安は大きな問題であると同時に、原油の値上がりなどの影響で価格に反映されることは必至であり、景気は良くなると感じるが、婦人服にとっては追い風にはならない。
百貨店 (販売促進担当)	・現在の景気対策への期待を込めて良くなると答えたところだが、2、3か月では身の回りの景気は変わらないと思う。
百貨店 (販売管理担当)	・政権交代により、景気のプラス基調が強固になったため、消費意欲の上昇が期待できるが、すぐに給与に反映されるわけではないことから、いま少しの時期は、現在と状況が大きく変わることはないと思う。
スーパー (経営者)	・良くない状態がまだ今後2~3か月同じように続くと思うため、変わらない。今年は天候が安定していないため、非常に左右されている。また、12月の景気は良かったが1月から元に戻っており、なかなか世間の景気に追いついていかない感じがする。根本的に競合店が新しくできてきているため、影響を受けている。
スーパー (店長)	・本来ならば、やや良くなると回答したいが、3月に当店から徒歩1、2分の所にまた競合店が出店する。3か月先は、今の現状維持の数字でいってほしいという期待から、変わらない。
スーパー (店員)	・景気が上向き傾向であり、また、そのような雰囲気が消費動向にもみえるが、実際の買上内容、買上点数から見ると、まだまだ必要な物、必要な分だけということや、買い回り傾向が見受けられる。実感として、身の回りの所得改善など、まだ肌で感じられないのが現状だと思ふ。
スーパー (総務担当)	・円安になって株価が上がり、景気が非常に良くなるようなニュースがあるが、小売業としては、最終的に給与に跳ね返り、客が買物をするのはまだまだ先のように思う。可処分所得がまだ行き渡っていない状況のなかで、下げ止まったまま景気動向は良くない状況が続く。
スーパー (仕入担当)	・インフレに振れてくると1品単価が上がり売上はアップするが、輸入品は円安で仕入価格が上がる傾向にあり、利益が圧迫されてくる。
スーパー (仕入担当)	・競合各社との価格競争はより厳しくなり、体力消耗戦の様相を呈している。客の来店頻度は変わらなくても、買上点数や一品単価の下落が避けられない状況である。
コンビニ (経営者)	・良質な商品へのウエイトの高まりはあるが、安価なセール品への需要も多く、景気の変化は期待できない。
コンビニ (経営者)	・これと違って上向きな要素が見当たらない。
コンビニ (経営者)	・客の様子、近隣の様子を聞いても変わらない。
コンビニ (経営者)	・客数が増えてきている。

コンビニ（経営者）	・毎朝来店する会社員の常連客が、このところ何人も退職あるいは異動で残念ながら会えなくなっているケースが多々ある。また、必ず朝買物をしていたが、駅の近くに競合店ができ、そちらのほうが便利のため利用しているという客が大勢いる。また、夕方から夜にかけても競合店のビルにカラオケボックス、居酒屋など飲食店ビルとしてオープンしている。
コンビニ（経営者）	・客数減の幅がだんだん短くなってきており、憶測だが、5、6月ぐらいにはプラスに転じるかもしれない。
コンビニ（店長）	・世の中の状況や、春に向かうことにより、客の動きが若干良くなる。落ちるということはなく、まず変わらない。その次にやや良くなる。
コンビニ（商品開発担当）	・競争環境は一層厳しさを増しており、来客数の大幅な増加が期待できない。
衣料品専門店（経営者）	・新政権の景気対策は評価できるが、中小零細企業や一般消費者が良くなるまでには、まだまだ時間が掛かるものの、今より少しは良くなるという期待の声が聞こえるようになってきている。
衣料品専門店（経営者）	・アベノミクスにより雰囲気は良くなっているが、末端の収入が増えるまでには時間も掛かり、なかなか行き届かないと思う。また、天候次第で買上が増える場合もあるため、あまり変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・3、4月は入学式シーズンで売上は一番高い月になる。しかし、生徒数が減少し、また、リサイクルが多いため、年々前年比で落ちているため、あまり期待できない。
衣料品専門店（経営者）	・変わらないというより、実際は分からないといったほうが正確である。政権交代し、アベノミクスということで市場では歓迎ムードであるが、末端の実体経済、また我々の周りでは、そういった動きはまだなく、円安による値上がりのほうが気になる。今後どうなるか分からない。
衣料品専門店（経営者）	・前年比より良くも悪くもなる条件はない。顧客中心に春物を来月より大きく展開するが、一般の動きは実需型になり、温度に左右されることが多い。商材的にも大きくリードするアイテムは見当たらない。
衣料品専門店（営業担当）	・景気は良い方向へ向かっているが、今後の経済は急には良くなる見込みはない。
家電量販店（店員）	・現状において特に景気の流れが不透明な部分があり、コメントしづらい。
家電量販店（統括）	・金融政策が実行され、その効果が消費に現れるには時間のずれがある。
乗用車販売店（総務担当）	・ここ数か月は現状維持の傾向で推移している。円安傾向、株価上昇の度合いによっては、車の売行きが上昇すると思うが、さほど期待はできない。
住関連専門店（統括）	・円安になったが、まだまだ効力を発揮する状態ではないと思う。2、3か月はこの状態が続くのではないかと。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・景気回復の期待感だけではなく、最終消費者の懐具合、実収入の増加が実現できるまでに時間がかかりそうである。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・1月14日の大雪以降、売上が苦戦している。景気回復の期待感も一服し、現実には家計所得が増加しているわけでもなく、生活に大きな変化がみられない現状から、消費が停滞することを危惧している。
その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・今後の円相場や様々な要素が絡みそうなので、はっきりしたことは言えない。
高級レストラン（支配人）	・この先の受注状況は前年よりやや良い程度で、大きく改善している感はない。各企業は様子見しているのではないかと。
一般レストラン（店長）	・とにかく客が全く来ない。ビルにも人がいない状況であり、3か月先は近隣のビルの閉鎖も決まっているため、良くなるというよりは、更に悪くならなければいいと思う。
都市型ホテル（スタッフ）	・雰囲気だけではなく、実体経済がどうなるかで今後の景気が変わってくる。
都市型ホテル（スタッフ）	・先々の予約も動きが鈍く、不透明な状況である。直近の動きに期待をしたい。
都市型ホテル（スタッフ）	・富士山の世界遺産登録など、観光機運の盛り上がりにも期待したい。
旅行代理店（経営者）	・今はインターネットで直接宿を取ってしまうことが多すぎる。団体に関してもインターネットでの取引のほうが多いため、個別に当店のような中小企業に足を運んでくれる客数は少なくなってきた。
旅行代理店（従業員）	・これ以上悪くはならないのではないかと。世間の空気、思惑によって気分だけでも景気が良くなり、新規の受注状況にも変化が出ることを期待したい。

タクシー運転手	・例年2月はあまり良くない月ではあるが、今月は景気が一層落ち込んでいるような感じがする。マスコミ等で騒いでいるアベノミクスとは関係ない感じがする。
タクシー運転手	・円安による値上がりが結構尾を引いており、その影響を心配している。また、客が増えないことへの影響が心配である。
タクシー（団体役員）	・現在の利用客の状況から2～3か月後にすぐ良くなるとは思えず、しばらくは変わらない。
通信会社（社員）	・現状との変動要素は見当たらない。安定した加入を想定している。
通信会社（局長）	・将来の希望がみえて、社員の給与が上がれば購買意欲につながると思うが、デフレが長く続いた影響もあり、また、スマートフォンも一定量購入が進んだなかでは、更に景気上昇につながる要素があまり考えにくい。
通信会社（営業担当）	・現状では、良くなる材料が見当たらない。
通信会社（営業担当）	・全体的に景気の好転の影響が出るのは、もう少し先になってからだと思う。
通信会社（総務担当）	・日本の景気が悪すぎる。回復を目指し公共事業等に力を入れる政策に戻ってはきたが、東日本大震災の影響もあり、ここまで落ちたものは、すぐには回復しないと思う。
ゴルフ場（従業員）	・新政権への期待を込めて、回答を悪くなるから変わらないとした。
パチンコ店（経営者）	・当店もライバル店も集客を凶っているが、さほど上下がない。また、先行きを考えると特別悪くなる要素も、良くなる要素もないため、現状のまま推移するのではないかと。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (店長)	・直近2か月は安定状況にあるものの、その反面、母体の動向は悪化しており、ここから更に伸びる要素が見られない。
その他サービス [保険 代理店] (経営者)	・今の状況を維持できれば、景気が変わらなくても増収が見込める。このまま大きな変動がない状態を期待する。
その他サービス [立体 駐車場] (経営者)	・大都市は景気が良くなってきているようだが、地方の小規模企業ではまだまだ時間が掛かると思う。
その他サービス [学習 塾] (経営者)	・現在、生徒の入れ替わりの時期のため、次々に中学3年生が辞めて売上は下がっていく状態である。4月以降にならないと人数が多く入ってくるか分からないため、景気の判断が難しい。4月以降に新入生が多く入ってくれば良くなると思うが、今の段階では横ばいの状態である。
設計事務所（経営者）	・行政のPRがあり、民間の建物の耐震診断の情報が数多く流れている。しかし競争相手も多く、民間の耐震診断を受注することも非常に困難となっている。今までの実績等を踏まえ、そして当社としてのPRも踏まえ、頑張っているが新しい仕事に結びつくのは難しい状況である。4月に向かって、新しい年度としての行政の仕事の発注がどのようになるかも分からない状態であり、友人、近隣、情報を探りながら新しい仕事への形を整えていくことを考えている。
設計事務所（職員）	・建築業界には、東日本大震災の復興需要の本格化及び、潜在的な労務不足が工事発注時の不調や、設計段階での見積り高騰となり、影響が顕在化してきている。建築工事では1年前に比べ少なくとも10～20%高騰していると思われ、更に消費税増税により景気好調となるかは疑問である。
住宅販売会社（従業員）	・駆け込み需要で契約は上がっても、売上にはまだ貢献してこないため変わらない。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・良くなることを期待しているが、悪い状況が少し続くように思う。早く良くなって欲しい。
一般小売店 [茶] (経営者)	・消費税増税や電気料金の値上げなど、消費者の買い控えが高まる一方、販売単価の低下により、小売店の経営はますます厳しくなると思う。
一般小売店 [家電] (経理担当)	・移動や進学などがあり、商品の動きのある時期になる。リフォームなども、声かけをすると案外需要があると感じる。細かいことから勧めていくと、話を聞いてくれて仕事につながる。
一般小売店 [茶] (営業担当)	・企業の福利厚生費はカットされ続けて、欲しい飲み物は各自で負担するという自動販売機等が根付いてきている。
衣料品専門店 (営業担当)	・これから本当に厳しい時代がやってくる。資金力があるところだけが生き残り、中小企業はどんどん倒産するだろう。銀行の貸し渋りも原因であり、政治が一番守らなければいけないところを履き違えていると思う。
その他専門店 [ドラッグ ストア] (経営者)	・競合店がまた増えることが決定しているため、客の取り合いになるのが目に見えている。
その他小売 [ゲーム] (開発戦略担当)	・当面は大型タイトルの発売次第の状況が続く、市場の低迷は続くと思う。

		旅行代理店（従業員）	・アベノミクスにより円安に振れて海外旅行の価格が高くなり、旅行者の割安感がなくなる。
		設計事務所（所長）	・全体的に景気が上向きというが、予断を許さないと思う。東日本大震災の復興で資材が高騰したり、人出が非常に足りないのが現状である。やはり各下請業者は仕事がなくでどんどん閉店しているのが現状である。したがって、これから景気が良くなっていくということではなく、足元がしっかり固められていないうちに、ただ上っ面だけ滑っているのは、なかなか厳しい状況が続くのではないかと心配している。
	悪くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・アベノミクスで株価が上がっているというニュースがあるが、中小企業の工場、また設備投資等の話は全くきていない。インターネット等で安い商品等が出ており、対抗はどうしてもできないため、見積も合わなくなってきている。電化製品等はずっとデフレになっていくような気がする。
		一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・オーバーストアのため、前年より売上を上げるのは難しい。
		一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・当店の客をみると、これから資源価格が上がるということで、給与所得者はその値上げ前に、また消費税増税前に買上げることもあるだろう。しかし、年金生活者は防衛に移ってきており、安い物でなるべく出費を少なくするような感じが出てくるため、悪くなるのではないかと心配している。
企業動向関連 (南関東)	良くなる	輸送業（経営者）	・良くなるという保障はないが、この景気が続いたら我々中小企業は終わりにになってしまうのではないかとこの心配から、そうなってほしいとの願いである。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・株価上昇によるマインドが大きい。
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・新しい販路が開拓できたためである。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・時期的に取引先の需要が期待できそうである。ただし、新規事業の受注は未定のため、様子見の感がある。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・個人客で、象牙の実印を8万5千円で注文した客がいた。1万円前後の実印は良い物であり、当店で象牙でも3万円以内で売っているが、思い切ってこの際だから購入しようという客や、他にも少し高めの物を注文する個人客が現場で出てきている。
		金属製品製造業（経営者）	・円安傾向もあり、国内生産量が増える可能性がある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・株価が更に上がり、国の予算が施行されれば我々にも多少なりとも仕事が回ってくると思う。その前に、中小企業金融円滑化法が終了し、その影響がどの程度出るのか不透明で先が読みにくい。
		精密機械器具製造業（経営者）	・株価上昇、アベノミクスで期待感があり、補正予算も出たが、いまだ製造業では効果が出ていない。大企業のみで中小企業には効果が出るまでに時間がかかると考える。
		建設業（経営者）	・官庁関係も補正予算での発注が期待されることと、設備投資が動き出したようである。
		建設業（経営者）	・とりあえず1年は続きそうである。
		建設業（営業担当）	・最近、景気対策による企業の設備投資傾向や、消費税増税前の駆け込み需要による発注案件が増えている。しかし、顧客との会話では一時的なものと考えられる。また、請負側としては物資単価の上昇に伴い、契約時との差があると採算割れを起こす懸念があるため、不用意には請負えない状況である。
		建設業（経理担当）	・なかなか受注価格にまで反映しようにはないが、確実に工事案件の数は増えている。消費税増税や株式相場の上昇で、計画していた客が動き出してきているようである。
		輸送業（経営者）	・3か月後に景気が良くなるということではなく、何か月後になるか分からないが、補正予算が通ったため、財政と融資が非常に活発化されると思う。景気への影響度は高いと思っている。
		通信業（広報担当）	・アベノミクスの効果で今月よりは上向くと思う。
		金融業（統括）	・円安、株高により、少しずつ景気が上がっていきそうである。
		金融業（役員）	・消費に対するマインドが変化してきた。今が買い時という気持ちが強くなってきているように思う。
		金融業（支店長）	・ねじれ国会を解消するためには、参議院選挙まではアベノミクス効果を期待する傾向が強い。しばらく良い環境が続くのではないかと。
		不動産業（従業員）	・法人、個人共に注文が増加している。

	不動産業（総務担当）	・入居希望テナントの問い合わせが増えてきているため、今後空室率の改善が見込める。入居希望テナントのなかには、直接当社の営業部に問い合わせってくるテナントもあり、その場合、仲介手数料やフリーレント期間も短縮できるため助かる。
	広告代理店（営業担当）	・クライアントより、来年度は予算が若干増えるという。ただし、業種による。エンターテインメント業界はユーザーの接触方法が変わっているだけに、先が読めないのが現状である。
	税理士	・今後の政策に期待して消費は活発になると思う。
	経営コンサルタント	・季節変化なども影響する。
	税理士	・北米での日本製品の売行きが、やや良くなってきている。米国の景気が少し回復してきていることや、また円安によって日本車が売れていく。ただし、新興国は中国が停滞しているため弱まっている。もう一つの大きな要因は、国内の政治である。政権交代して、様々な積極的な政策をしていることで、内政が活性化してきており、すべてを引っ張っていっているため、少し良くなっていくのではないかと。
	経営コンサルタント	・希望的観測だが、輸出企業が円安の恩恵を受けて、その余波が中小製造業にも近々くるものと想定される。
	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・現在、取引先からの問い合わせがきているが、実際に受注できれば、やや良くなると思う。
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・光回線開通数が着実に伸びてきていることから、当面、この傾向が継続すると思う。
変わらない	繊維工業（従業員）	・世間では円安で輸出産業の経済効果を強調しているが、国内の製造業にとっては、輸入品が高くなるということも国内回帰は期待できず、安価な商品に向かう今の状況が続くと思う。
	出版・印刷・同関連産業（所長）	・依然価格の見直しや、部数削減等の販売促進費の圧縮傾向はまだ続きそうである。
	出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・一部の業種のみ業績が上がっても、景気が良くなってきたとはいえにくい。新政権に期待はするが、中小企業まで景気回復が浸透し、実感できるまでかなりの時間を必要とするはずである。実際のところ待ってられる余裕もない。
	化学工業（従業員）	・景気が良くなると言われているが、その割に荷動きは良くない。円安によって原材料の値上げの打診があり、景気が良くなるとは思えない。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・輸出関連部品に改善の兆しは見えるが、足元の内需関連部品は停滞状況で、顧客の投資意欲も低く、厳しい状況がまだ続く。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・アベノミクスの成果は、少し出てくるかもしれないが、3か月後ぐらいでは大きな変化はまだない。
	金属製品製造業（経営者）	・政策による景気の上向きに期待はしているが、現状は変わらず低調である。材料費など値上がり傾向が気にかかる。
	金属製品製造業（経営者）	・零細企業では、電気料金、ガソリン等の値上げの分を上乗せできるようになるには当分時間がかかると思う。社員の給料を上げるようにと政府も声をかけているが、その状態になるにはまだまだ時間がかかる。ただし、救われるのは仕事量が少し多くなってきていることである。
	一般機械器具製造業（経営者）	・景気の回復に大変期待しているため、よろしく願いたい。
	電気機械器具製造業（経営者）	・景気が良くなる期待感是非常におお盛だが、現実に当業界に景気が良くなる動きが出てくるのは、おそらく予算執行後である。末端にまで及んでくるのはまだ先であり、建設復興とは違って緩やかに良くなっていくのではないかと考えている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・仕事の絶対量が少ない。政権交代により、皆が少し良くなるのではないかとという表情だったため、先月やや良くなるだろうと報告したが、ここへきてイタリアの選挙、スペインの問題等があり、再びリーマンショックのような状況がきたら、日本ではもうものづくりはできなくなってしまい、我々も皆倒産してしまうだろう。そういったことで見通しが立たなくなってきた。
	その他製造業〔靴〕（経営者）	・政権交代し、株価や様々な意味でかなり上向きようだが、我々のところまで良くなっているということではないため、当面はこのままの状態が続くと思う。
	建設業（経営者）	・新しい政策が実施されない限り、変わらないと思う。
	輸送業（経営者）	・新年度、新学期を間近に迎え、取扱量の増加が見込まれるが、燃料価格が毎月上昇し続けており、かなり経営を圧迫してきている。また、人手不足等の不安材料を加味すると、好材料が相殺されてしまう。

		金融業（従業員）	・円高の修正や株価の上昇によって、景気回復への期待感が出ているものの、中小企業金融円滑化法が期限切れを迎えた後の影響も明確ではなく、消費税増税による影響も不透明である。
		金融業（渉外・預金担当）	・短期での改善は見込めないとの見方が強い。
		金融業（支店長）	・根本的に中小企業の客は、売上増加はまず見込めない。また、今後も消費税増税等で様々な経費が増えていくことへの不安感等がある。できれば公共事業等、仕事が出るような政策を早めに打ってもらいたいが、まだまだ見えていない。また、利子の延滞も変わらず増加していることを鑑みると、2、3か月先はそれほど景気が良くなり、変わらないのではないかと。
		不動産業（経営者）	・全般的に賃貸市場もまだまだ低調である。客が少なくなっている。
		広告代理店（従業員）	・新政権になってからも、当社に限り、販売量が増える様子はみられない。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない。
		経営コンサルタント	・政権交代による期待は大きいですが、成果が出るのは少し先である。目の前の円安は、輸入比率の高い食料品を直撃しそうで家計への影響は早い。また、この先に控えている消費税増税への対応について、商店主たちは頭を抱えている。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・顧客の値下げ要請のみならず、原油が上がって輸送トラックや機械の燃料、原材料への値上げが始まってきており、更に利益が圧迫されることが予想される。
	やや悪くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・客の話を聞くと、総体的に良くない。また、生産の見通しでも良くないということで、今後良くなるわけがないと思う。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・円安に歯止めが掛かったためである。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・4月に入ると受注残が減るため、落ち込む。
	悪くなる	輸送業（総務担当）	・荷主の出荷量は、年度末までは増加計画であったが、下回る見込みである。また、今月に入って燃料価格が大幅に値上がりし、採算のとれない運賃となってきた。新年度は確実に採算割れする見込みである。
		広告代理店（経営者）	・来期予算は軒並み削減という声しか聞こえてこないため、景気という面では悪くなるとしか想定できない。
雇用関連	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年度替わりということで、効果が確実に表れている。予定で15～16社と大きい募集をもらっている。相当期待できている。
(南関東)	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・円安が輸出企業に追い風となっている。輸出関連企業、特に自動車を中心とした業績回復が明るみとなっている。欧州の信用不安と不透明感はあるが、生産の増加に伴う雇用の維持、拡大が期待できる。
		人材派遣会社（社員）	・顧客の状況として、しばらく活発な需要が続くとみられる。
		人材派遣会社（支店長）	・政権交代により、求人企業に活気が出てきたようである。実際、求人数も3か月前と比べると、上昇傾向にある。
		人材派遣会社（営業担当）	・契約終了に対して採用数が微増で推移している。新政権になってからの景気回復への期待感がこのまま継続してほしい。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・合同会社説明会への参加企業が増えると予想される。特に中堅、中小企業に動きがある。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人を出す企業がやや増えてきているため、今後にも期待したい。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・広告に関する問い合わせが増えている。4月以降の案件も多く、このまま順調にいけば求人件数も増えるだろう。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・特に新規の取引が増えているため、その流れが続けば総数が伸びると思う。
		職業安定所（職員）	・これから円安、株価上昇により、どのような影響が出るか分からないが、現在、製造業、食品加工の求人が出ているため、少し期待している。
		民間職業紹介機関（経営者）	・採用まで時間がかかっている状況は変わらないが、国内景気の回復期待から求人が増えている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・国内での景気回復感が、最近の販売状況から期待されている感じだが、実感としてはまだ時間がかかりそうである。求職者は安定企業志向が強い。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・景気は回復傾向にあるが、取引先企業の様子も以前に比べると明るく、この状況が続くそうである。

人材派遣会社（営業担当）	・年度替わりの時期にて人員体制の見直し、派遣期間満了終了、後任採用の中止等が見込まれ、派遣労働者数が減少する。
人材派遣会社（営業担当）	・求人、求職者はあまり増えていないが、離職率が下がり、仕事を選んでいると仕事に就けなくなる傾向がますます強くなるようである。
人材派遣会社（支店長）	・派遣依頼数が増えているが期間限定が多く、長期安定的な業績にはつながらない。
職業安定所（所長）	・求職者は減少、求人は増加を続けており、悪い方向には進んでいない。アベノミクスも滑り出しは順調に見える。しかし、物価は上がるが賃金は上がらないのではないかという不安や、日銀の独立性への懸念、さらにイタリア選挙の影響で円高に転じるなど、景気の先行きは不透明である。
職業安定所（職員）	・人手不足のIT、医療、サービス業は、求人数の増加も見込まれるが、新規採用について経済動向の様子を見している中小企業も多い。
職業安定所（職員）	・今後製造業の業績が回復しても、投資先は海外へ向かってしまい、なかなか国内の雇用増にはつながりにくい。
職業安定所（職員）	・採用者数は減っている状況であり、変化はない。
職業安定所（職員）	・新規求人の増加により求人受理窓口は混雑が見られるなど明るい兆しもある一方、以前に希望退職募集の相談に来所した事業所が、回避すべく努めたが実施せざるを得なくなったと再来するなど依然として求職者増加の懸念がみられる。
民間職業紹介機関（職員）	・上昇局面に入ってきているとは感じるが、今と比較して良くなるかどうかは、まだはっきりしたものは見えていない。
民間職業紹介機関（職員）	・医療業界の求人増加傾向が継続するものなのか、一時的なものなのか、現時点では判断できない。
学校〔短期大学〕（就職担当）	・求人、採用依頼を兼ねて企業訪問をしているが、採用予定のある企業は、前年並みの人数で採用を予定しているとのことである。まだ採用するかどうか未定である企業も多い。
学校〔専修学校〕（就職担当）	・来年度学生向け求人の採用予定状況を確認しているが、前年との比較で大きな伸びは見られず、求人数の大幅な増加は見込めていない。
やや悪くなる	—
悪くなる	—